

## ヒメシマチビゲンゴロウ

*Nebrioporus nipponicus*

兵庫県：要調査

環境省：

### 種の概要

体長4.4~4.9mm。体型は卵形。背面は細かい網状印刻に被われるが、光沢はやや強く、特に♂では顕著である。頭部は黄褐色で後頭は黒ずむ。前胸背は黄褐色で前縁、中央部を除く後縁、中央部の紋は暗褐色だが、個体により消失する傾向のものも見られる。上翅は黄褐色で肩部、翅端部を除き各6~7条の縦条紋があるが、個体変異が著しい。側縁の翅端前には♂♀とも1歯状突起をそなえる。流水性で河川中流域の清流に生息する。



写真提供：森正人

### 国内分布

本州、四国

### 県内分布記録

神戸市、西宮市、伊丹市、宝塚市、加西市、淡路島（市町不明）

### 選定理由

| 人為性   |        | 特殊生息環境 | 学術性   |       |    |
|-------|--------|--------|-------|-------|----|
| 個体数激減 | 生息環境激変 |        | 分布が極限 | 分布の限界 | 希少 |
|       |        |        | ○     |       |    |



### 特記事項

記録や情報が少なく、分布状況が把握されていない。

### 保護上の留意点